

専門部会だより



役員会	暑い日々が続いてくると思いますが、健康を第一に様々なイベント等にチャレンジしていきたいと思います。よろしくお願いします。
事業部	今年もドッチビーフェスティバルに向かって頑張ります。よろしくお願いします。
企画部	平成 28 年研修旅行の日程が決まりました。2 月 6 日(土)、7 日(日)です。その他については決まり次第お知らせします。
広報部	みんなのスポーツ、SL の発行に向け部員一同頑張っています。今後とも皆様のご協力よろしくお願いします。



地区部会だより

小松川	27 年 7 月 26 日(日)	ドッチビー・ふらば～るバレーボール 小松川第二小学校 体育館
	27 年 8 月 9 日(日) 27 年 8 月 30 日(日)	グラウンドゴルフ 平井南小学校 第二校庭 グラウンドゴルフ 平井南小学校 第二校庭 第三回小松川大会
	27 年 9 月 13 日(日)	ドッチビー・ふらば～るバレーボール 平井小学校 体育館
中 央	27 年 9 月 10 日(木)	地区部会
小 岩	27 年 9 月 8 日(火) 27 年 9 月 16 日(水)	グラウンドゴルフ 小岩第二中学校
鹿 骨	27 年 8 月 8 日(土) 27 年 8 月 22 日(土)	ナイトウオーク 鹿骨区民館
東 部	27 年 7 月 12 日(日) 27 年 7 月 19 日(日)	瑞江地区青少年健全育成野球大会
葛 西	27 年 7 月 18 日(土) 27 年 7 月 25 日(土)	ナイトウオーキング 葛西健康サポートセンター

江戸川区 スポーツリーダー、
スポーツ推進委員会、編集：広報部
NO.376

～Let's Challenge the Canoe!～

カヤッ子「江戸川区はカヌースラローム競技の開催予定地なんだよね。」

カヌ男『そのとおり。葛西臨海公園西側の都有地にスラローム会場ができる予定だよ。』

カヤッ子「2 年前には、東京国体のボート競技が江戸川区荒川特設会場で開催されたけど、

カヌーとボートってどう違うの？」

カヌ男『ボートは後ろ向きに進むのに対して、カヌーは前向きに進むものなんだ。』

カヤッ子「な～るほど。カヌーは前向きで、まさにポジティブ&アクティブなスポーツなんだね。それとさあ、カヤックというのを耳にするけど、それはなあに？」

カヌ男『カヌーを漕ぐ櫂のことをパドルと言うんだけど、長くて両端にブレードという水かきが二つあるパドルで漕ぐやつをカヤックというんだ。ちなみに、短くてブレードが一つのパドルで漕ぐやつはカナディアンっていうんだよ。』

カヤッ子「カヤックとカナディアンか...ところで、江戸川区で開催されるスラロームってどんな競技なの？」

カヌ男『流れのある川の上流から順番にゲートをくぐりながら下る時間を競う競技なんだ。1 秒 1 ポイント計算で、ゲートをくぐれない時、接触した時にペナルティで加点され、ポイントが少ない順に順位が決まるんだ。』

カヤッ子「カヌー競技にはスラロームのほかにも何種目があるの？」

カヌ男『オリンピック種目としては静水でのレースとなるカヌースプリントがあって、その他のカヌー種目としてはカヌーによる球技のカヌーボロや複数名でカヌーを漕いでレースをするドラゴンカヌーなどがあるよ。』

カヤッ子「そうなんだ。ところで、パラリンピックの種目はあるの？」

カヌ男『パラカヌーといって、スプリント競技はあるよ。』

カヤッ子「カヌーといっても、いろいろあるんだね。私も一度乗ってみようかしら。」

カヌ男『百聞は一見、いや一験にしかず。ぜひ体験してごらん。』

カヤッ子「でもどこでできるの？」

カヌ男『夏休みになったら、区内で体験教室をやる予定だからそこに行くといいよ。』

カヤッ子「わかった。さっそく私も体験してみるわ。カヌーのいろはを教えてくださいありがとうございます。でも、オリンピック種目が江戸川区で開催されるなんてすごいわね。」

カヌ男『T O K Y O だけでも興奮したけど、そこにE D O G A W A が加わったんだよ。スポーツの祭典を大いに盛り上げて、ぜひ世界に江戸川区を P R したいね。』



スポーツ推進委員の皆様、日頃から本区スポーツ振興事業にご尽力賜りありがとうございます。こんな会話が、区内各地で聞こえてきそうな今日この頃です。まずは皆さんに、カヌーを知っていただければと思いカヤッ子さんとカヌ男さんに登場していただきました。

現在、区を挙げて『区民が誇りを持ち、訪れる人々が憧れる“江戸川区”を目指して』東京オリンピック・パラリンピック気運醸成に努めております。スポーツ推進委員の皆様にも、これから様々な場面で、まさにスポーツの最前線部隊として東京オリ・パラ at Edogawa を盛り上げていただきたいと願っております。どうぞよろしくお願いします。そして、何よりもまずスポーツ推進委員の皆様も、ぜひ一度カヌーを体験してみませんか。

スポーツ振興課長 高橋和彦

地域まつりレポート～小岩地区～



今年で 35 回目を迎える下小岩縁日祭りが、天候にも恵まれた 4 月 29 日(祝)に開催されました。この日は江戸川区長さんをはじめ、多くの来賓の方々をお迎えして、縁日祭りの会場である南小岩 6 丁目児童遊園(天祖神社)は終日賑いを見せました。

私たちスポーツ推進委員も地域の人たちと共に会場の設営や接客をはじめ、輪投げや射的などのコーナーに従事しました。

ステージでは、地元の小中学校や保育園、地域の各団体による唄や演奏、踊りなどが披露されました。また会場では多くの模擬店をはじめ、ミニ SL などのアトラクションや金魚すくい、射的、お茶席、手作り体験など数多くのコーナーが設置されました。

そして福引や抽選会も行われ、縁日祭りに訪れた人たちは皆数多くの土産を手にとり、楽しかった思い出を持ち帰りました。

小岩地区 石井 良一

～中央地区～

5 月 24 日(日)第 36 回中央地域まつりがグリーンパレス及び小松川境川親水公園、総合文化センター前広場等で開催されました。様々な模擬店やイベントがある中、中央地区のスポーツ推進委員は毎年金魚すくいとグラウンドゴルフのお手伝いをしています。

親水公園では、午前 11 時にスポーツ推進委員の合図のもと、200 人近い子供たちが



一斉に水の中へ入っていきます。金魚やどじょうを手づかみで捕まえるのは難しく、必死になって追いかけていました。総合文化センター前のグラウンドゴルフ体験コーナーでは、絶え間なく子どもたちが列をつくって並んでいました。「もう 1 回いいですか？」と繰り返しチャレンジする子も多く、150 人以上の子どもたちがグラウンドゴルフの楽しさを味わうことができました。



中央地区 磯部 豊

♪♪新任委員の紹介♪♪

＊ ＊平成 26 年 7 月 1 日付＊ ＊



石井 良一 いしい りょういち(小岩地区)

- ❖ 出身地：江戸川区南小岩
- ❖ スポーツ歴：野球、ソフトボール
- ❖ 趣味：旅行、ピアノ・ギター
- ❖ ひとこと：スポーツ推進委員になり、各地域にさまざまな競技やイベントがあることを知りました。これからは私もそのスタッフの一員として頑張っていきたいと思います。

＊ ＊平成 26 年 4 月 1 日付＊ ＊



砂山 伸晃 すなやま のぶあき(鹿骨地区)

- ❖ 出身地：江戸川区上篠崎
- ❖ スポーツ歴：バスケットボール、ウォーキング
- ❖ 趣味：軽のキャンピングカーで、近隣のオートキャンプ場に行くことと、料理が好きで、最近は魚料理に凝っています。
- ❖ ひとこと：定年を前にして地域の方たちと何か一緒に行動できないかと考え、スポーツ推進委員をやらせていただくことになりました。楽しみながら頑張ります。よろしくお願いいたします！

学校スポーツ推の連載

～オリンピック・パラリンピック教育が始まっています～

東京オリンピック・パラリンピック開催まであと 5 年、東京都教育委員会は、幼稚園から高等学校、特別支援学校を含めて、平成 26 年度に 300 校、27 年度には 600 校のオリンピック・パラリンピック教育推進校を指定し、2020 年の東京大会開催に向けて準備を進めています。この「オリンピック・パラリンピック教育」とはどのようなものでしょうか。

オリンピック教育のねらいは、単に「オリンピック・パラリンピックを学ぶ」ことだけでなく、それを題材として、世界に広がる多様な価値を学ぶことにあります。その理想を取り入れながら、体育やスポーツという分野にとどまらない教育活動や文化活動が対象や目的に応じた方法を用いて行われるものです。

これまでの取り組みの例としては、

- ・オリンピック・パラリンピックの精神とその歴史を学ぶ。(総合的な学習の時間など)
- ・運動やスポーツに親しむ学習・活動を行う。(体育・休み時間など)
- ・外国人留学生や地域の外国の方と交流、外国語学習を行う。(総合的な学習の時間、外国語活動など)
- ・オリンピック・パラリンピアンから、その生き方や競技について学ぶ。(道徳、総合的な学習の時間など)
- ・日本の伝統的な礼儀・作法おもてなしの心を学ぶ。(道徳、総合的な学習の時間など)

などが行われてきました。

来年のブラジルでのリオデジャネイロ大会後本格始動となり、東京全体でオリンピック・パラリンピック教育を進め、東京から全国へとその取組を発信していく計画だそうです。

元サッカー協会理事、IOC 名誉委員の岡野俊一郎さんは「世界大会を招致することは世界に窓を開くこと」とであると述べました。東京オリンピック・パラリンピックを契機に、スポーツへの関心を高めるとともに、日本の文化や伝統に誇りをもち、世界の人々を理解し、交流することのできる人を育てていかななくてはなりません。

ある学校の取組より ～綱引きの学習～

5 月の運動会に行う綱引きについて、綱引協会の方々に指導をしていただきました。

まず、試しの試合を行い、負けたチームだけに特別指導をしました。チーム全員が心をつにして全力を出し切ることが何よりも大切なポイントであること、自分一人くらいは...と思う気持ちでは絶対に勝てないとお話でした。そして綱は脇腹に抱えるようにして持つ、体は相手チームに向ける、「始め」の合図で体を後方へ一気に倒す、視線は斜め上方を見る、などのコツを教えていただきました。しばらくの特訓後、再度勝負をしたところ、なんと！特訓をしたチームの圧勝、あっという間に決着が付きしました。心をひとつにすることの大切さを学んだ学習となりました。

綱引きは 1900 年のパリ大会から 1920 年のアントワープ大会までの 5 大会でオリンピック種目だったそうです。協会の方の綱引きを東京オリンピックの種目にとの熱い思いがひしひしと伝わる時間でした。



小岩地区 望月 早苗